

博物館だより

No.43

平成21年11月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

特別展

岩垂邦彦

〜明治日本の工学維新を担った男の軌跡〜

11月7日(土)〜12月20日(日)

現みやこ町豊津出身で、日本電気株式会社(NEC)の創業者・岩垂邦彦の生涯を紹介する特別展「岩垂邦彦〜明治日本の工学維新を担った男の軌跡〜」は11月7日からです。

ぜひ、ご来館ください。

開催期間

平成21年11月7日(土)

〜12月20日(日)

開館時間は、9時30分〜17時00分(入館は16時30分まで)。

開催場所

当館展示室



▲岩垂邦彦

入館料

常設展示の観覧料でご覧いただけます。

大人 200円

小・中・高校生 100円

※団体料金は20名から。

(主催/みやこ町・みやこ町教育委員会 後援/福岡県教育委員会・NEC)

臨時休館のお知らせ

展示準備のため、11月6日(金)は臨時休館致します。

博物館友の会

会員募集!

みやこ町歴史民俗博物館友の会では、平成21年度の会員を募集しています。

博物館友の会は「故郷を愛するには、まず故郷を知ることから」をモットーに、講演会やバスハイイク、史跡めぐりなどの行事を行っています。現在の会員数は約200名で、いかなる団体からも補助は受けず、会費収入のみの独立採算で運営しています。興味のある方なら、どなたでも参加いただけます。ぜひ、ご入会ください!

入会の方法

博物館の窓口で会費を納めてください。

年会費

個人会員 3000円

家族会員 1名2000円

※年度途中入会者は月割会費

お問い合わせ先

博物館内 友の会事務局

0930・33・4666



《古文書解読コーナー》

① 五名

〈ヒント〉 大きいそぎ

② 多建

〈ヒント〉 非常にはやいこと

③ 花頭

〈ヒント〉 「無理○○」

④ 多郡

〈ヒント〉 都会から離れている

⑤ 煙付

〈ヒント〉 吸いすぎに注意

◎ 答え

(反対向きに見てください)

- ① 五名 (専) 抽籤
- ② 多建 (専) 抽籤
- ③ 花頭 (専) 抽籤
- ④ 多郡 (専) 抽籤
- ⑤ 煙付 (専) 抽籤

みやこの歴史発見伝 32

豊前神楽の御先鬼

祭りの主役・人気者の姿から見えてくるもの

祭の主役・御先鬼

秋といえば祭り、祭りと言え
ば神楽、神楽と言えれば御先(鬼)
というフレーズが成り立つほど、
私たちのふるさと豊前地方は神
楽が盛んであり、かつその中で
の人気演目「御先」に登場する
鬼(御先とも御先鬼とも呼ばれる)が神
楽を代表する存在。主役であり
イメージであることは多くの皆
さんが実感されていることと思
います。

ところで、その主役である鬼
は、神楽舞台を所せましと暴れ
まわる力強い存在として誰もが
知る一方、なぜ鬼が御先とよば
れるのか? 鬼はなぜ暴れまわ
るのか? 鬼の存在は何を意味
しているのか? 等々、その人
気ぶりと裏腹に、鬼の正体や
意味するところが明快に語られ
ることは殆どありません。

ある意味謎の主人公であり人
気者の鬼ですが、近年盛んとな
ってきた豊前地方を含む神楽
の調査や研究の進展から、少し
ずつですがその正体が見えてく
るようになりました。今回はそ



▲豊前神楽の人気演目[御先(二ノ切)](上伊良原神楽)

れらから見えてくる鬼の一面を
覗いてみることにしましょう。
御先について

豊前神楽では鬼の登場する演
目を一般に御先(又は御先神楽)と
いい、これに伴ってか鬼そのも
の御先とよぶことが普通です。
御先の名はこの演目に登場す
る「鬼」姿の神・猿田彦(命)が

日本神話「天孫降臨の段」で天
界から地上へ降りようとした天
孫(ニギノミコト)天照大神の孫
の先導(御先)をかつて出たこと
にちなみ「御先神」とも呼ばれ

るようになったことからついた
ものとされています。

ちなみにこの演目は神話のス
トーリーに従い次のように展開
します。まず先導に現れた御先
の姿があまりにすさまじいため、
天孫の使いとしてやってきた
天宇豆女命(舞台では神主姿の男性
として登場。神宣・幣方ともいう)が邪
神と勘違いし、双方取っ組み合
いの争いに。しかしそれが誤解
とわかつて和解、めでたく御先
が天宇豆女命を先導して退場す
る、という形がとられます。具
体的には次のような番組構成を
とり、しかも長時間にわたるの
が特徴です。

①注連切(または一ノ切)
御先が舞台に登場。神宣とに
らみ合いの末、神宣を追い払い
横暴に振る舞う。

②二ノ切
御先と神宣が組み合せて争う。
その途中御先は大暴れする。



▲鬼の戯れ。「まん(運)がいい」と喜ばれます

③上(または三ノ切)

それぞれの正体がわかり和解。
御先が喜びの舞とともに退場。
これに①の前に行う「神宣舞上」
という厳重な祓舞を加えて一式
とし「天孫降臨乃舞」と称する
ことが基本形のようなです。
優に一時間を超えるこの演目

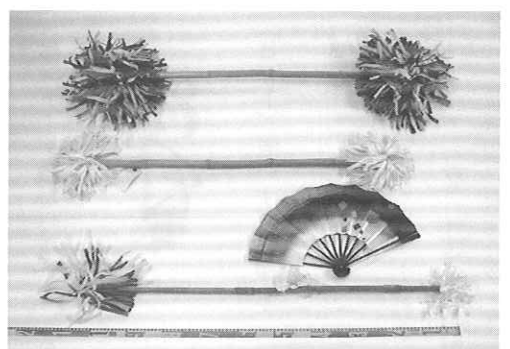
は二ノ切の際、御先が舞台を飛
び出し、観客に様々な戯れ(持っ
ている杖での御戯い・子供や女性への追い
掛けや抱きかかえ・大人への肩組や肩もみ
など)をするのが特徴で、その戯



▲御先鬼の形相。邪神と見間違うのもっともか?

れぶりや観客から返される様々
な反応の面白さがその人気の基
となつています。また、近年は
戯れの際にお菓子や餅をまく神
楽講も多くなり、即物的な意味
でも人気の集まる演目となつて
います。

御先が意味するもの
こうしてみると同じ神楽でも
典雅ではあるが静かな「祓舞



▲御先の採物(持ち物)。仕官杖とよばれる魔法の杖

(儀礼としての祓の動作を繰り返す静の
舞)に比べ賑やかで楽しい御
先に人気が集まるのはある意味
当然ではあるのですが、実は御
先が神楽の主役となる理由はほ
かにもあるのです。

それが「託宣(神がかり)」と呼
ばれる、神の声を直接聞くとい
う宗教儀式のことで、古代社会
では村々から宮廷に至るまで見
られた重要な指針決定の作法で
した。御先の姿はその様子を舞
によって表現したもので、御先
は神がのりうつった依坐(神を受
け入れる人や物)の姿を、神宣は託
宣を聞く審神者(神との取次と確認
を行う者)の姿を現すらしいとい
うことがわかってきたのです。

古代の重要な習俗を伝える御
先が神楽の中心となる理由には
こんな背景もあるのです。
(木村 達美)